

牛久市文化芸術振興審議会議事概要		日時	令和5年7月21日（金曜日）
件名	第1回 牛久市文化芸術振興審議会	場所 時間	ひたち野リフレ4階 第3会議室 13:30～15:00
作成年月日	令和5年7月25日（火曜日）	作成者	文化芸術課：鈴木
出席者	(出席委員) 磯上朋子委員、上仲典子委員、後藤雅宣委員、齊藤泰嘉委員、板東與實委員、宮地正人委員 (計6名) (欠席委員) 永井 博委員、宮本芳子委員 (計2名) (事務局) 吉田教育部長、高橋教育部次長、木本文化芸術課長、山越課長補佐、宮田課長補佐、 飛鳥川主査、鈴木主査 (計7名) (傍聴者) 0名 <div style="text-align: right;">(順不同)</div>		
	議事内容	・令和4年度文化芸術事業の評価について	
会 議 内 容 等			
1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 委員紹介 4. 役員選出 会長に後藤委員、副会長に齊藤委員を選出。 5. 議 事 「令和4年度文化芸術事業の評価について」 (事務局) 資料「令和4年度事業文化芸術課の取り組み」による、各担当事業内容の説明 <input type="checkbox"/> 文化芸術活動を展開する <input type="checkbox"/> 青少年の文化芸術活動を支援する <input type="checkbox"/> うしく現代美術展の開催を支援する <input type="checkbox"/> 郷土の偉人を顕彰する <input type="checkbox"/> 文化財を保護継承して活用する <input type="checkbox"/> 市内の埋蔵文化財を調査する <input type="checkbox"/> 小川芋銭記念館「雲魚亭」を一般公開する <input type="checkbox"/> 住井すゑ文学館を公開活用する <input type="checkbox"/> 旧岡田小学校女化分校を管理する <input type="checkbox"/> 牛久市市文化協会の活動を支援する <input type="checkbox"/> エスカードホールを活用した文化活動を支援する			

- 音楽分野における芸術活動を支援する
- うしくのひなまつりの開催を支援する
- (補足)新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

6. 質疑／応答など

① (後藤会長)

- (1)「文化財を保護継承して活用する」の報告内容の中で、メディアに取り上げられた件数等の情報がまとめられているが、他の事業についても同様の形式で掲載すべきだと思う。
- (2)施策体系の記載内容について、令和3年度の資料では「(1)文化芸術活動への参加促進・人材育成」のカテゴリに「優れた芸術作品を展示し市民の芸術的交流の場を提供する」、「エスカートを活用した文化活動を支援する」の項目があったが、令和4年度の資料では前者は削除されており、後者は「(3)コーディネート機能と広報の強化」のカテゴリに移動しているので、その理由を教えてください。

(事務局)

前者については、令和3年度はご指摘の通りの名目で、うしく現代美術展実行委員会への委託事業として、独自に予算を計上して実施していたが、令和4年度は委託事業としての予算がつかず、うしく現代美術展の事業の1つとして実施したので、本資料においては固有の項目を立てず、うしく現代美術展の事業を報告する項目の中で記載することとした。

後者は、牛久市教育振興基本計画において「(3)コーディネート機能と広報の強化」のための事業として記載されているため、本資料でもそれに合わせて修正を行った。

② (板東委員)

市民文化祭についての記載がないが、これまで多数の市民が参加しており、文化芸術の振興の為に重要な事業なので、記載をお願いしたい。

(事務局)

市民文化祭は、令和4年度までは生涯学習課が事業担当課として実施していたため、「文化芸術課の取り組み」の中では記載してこなかった。令和5年度からは文化芸術課が事業担当課になり、今後の資料には取り組みの内容・自己評価の内容を記載していくので、委員からの評価をお願いしたい。

③ (磯上委員)

障害者・高齢者に向けて実施した事業が少ないが、今後障害者・高齢者に向けた事業はどの様に展開していく計画なのか。

(事務局)

事業を展開していきたいとの思いはあるが、実際には中々実施できていない。令和5年度においては美術・音楽のワークショップが実施できないか検討している。

④ (齊藤副会長)

うしくのひなまつりの各事業の中で、図書館を会場としたワークショップを実施しているが、近年は図書館でも美術展の様な文化芸術活動を展開している例がみられる。牛久市でも、今後その様な形で図書館を活用した事業を実施する計画はあるか。

(事務局)

図書館が単独の課として独立して存在しているため、図書館と連携した事業は他にも実施してい

るが、文化芸術課の単独事業として図書館を活用することは難しい。

(齊藤副会長)

他の部署と連携している事業がある場合は、文化芸術課としての活動の内容を明らかにする為に、報告書に記載しても良いのではないか。

(事務局)

ご指摘の点については、報告資料への記載だけでなく、他課との連携体制も含めて検討していきたい。

⑤ (後藤会長)

本審議会について、ここ数年は昨年度に文化芸術課が実施した事業を評価する事がほぼ唯一の業務となっており、今後の文化芸術振興政策について提言する機能が弱くなっていると感じるので、審議会自体の課題として今後検討していきたい。

7. その他

第2回審議会に向けた事務の進め方等の説明

8. 閉 会